

わたしたちが運ぶのは未来です



運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局
清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号
TEL 清水 <0543>52-4146 (代)



清水港に寄港した「威臨丸」 平成6年5月27日

新任の挨拶

地域の発展に全力を

所長 高松 亨



4月1日付けで、清水港工事事務所長として着任いたしました高松です。よろしくお願いたします。これまで3年間山口県庁に出向し、港湾課長として港湾管理者あるいは地方自治体の立場で仕事をしておりましたので、運輸省職員としての仕事振りにしづらく慣れないかも知れませんが、御容赦下さい。

五建勤務は、これで2度目になります。昭和55年から2年半名古屋に勤務し、清水港や下田港の港湾構造物の設計や模型実験に携わったことを記憶しています。今回は、こうした港湾構造物の建設の第一線を担当することになりますが、よろしくご指導の程お願いいたします。さて、当事務所のホームグ

ラウンドの清水港ですが、大型コンテナ埠頭を中心とした新しい港湾計画の策定が大詰めを迎えていると聞いています。これからの地域間競争、港間競争に打ち克って、地域を盛りたてていくには、他に負けない基本施設を整えることが不可欠です。県市と一体となつて、計画づくりに力を注いでいきたいと考えております。御前崎港、下田港でも大型岸壁や新構造防波堤の整備が目前とのこと、これら直轄事業の推進に微力を尽くす所存です。

これらの港に限らず、静岡県内各港の発展に力を尽くすのも、当事務所の重要な責務だと認識しています。

各地で港を活用した地域開発のプランが進行中と聞いております。主役は港湾管理者であり、港湾所在市町村であります。運輸省港湾局の第一線の組織として、支援、協力は惜しまない所存です。

関係各位の御理解を得て、地域とともに発展する事務所を目指して、努力していきたいと考えておりますので前所長同様よろしくお願いいたします。

転任の挨拶
前所長 尾崎正明



4月1日付けをもちまして運輸省港湾局(開発課海洋利用開発室長)へ赴任することとなりました。平成3年9月前任地である関西国際空港株式会社での退社挨拶のとき、竹内良夫前社長から「清水港は垂涎の的だな」と言われ当地に赴任致しました。

すばらしい自然環境に恵まれた当地で、清水港工事事務所は地元地域に密着し、信頼される直轄事務所でなければならぬと考え、今日までやってまいりました。

昨年、今年と行った清水港に係る文化発掘活用調査の成果として発行した、「ベイズ」、「ナイトビューベイズ」も地元の皆様の良い評価を得て、うれしく思っております。さらに当地域の多くのすばらしい人々に出会うことができ、本当に充実した2年半でございました。

最後になりましたが、職員並びにご家族の皆様のご健勝を、さらに清水港の益々の発展をお祈りして転任の挨拶とさせていただきます。

下田港新構造防波堤
安全設計委員会

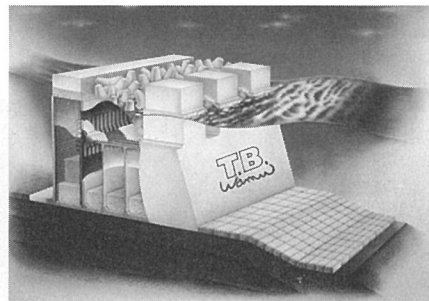
(大水深、高波浪下での安全作業を目指して)
港湾工事の設計、施工アドバイザー制度

運輸省港湾局では、建設労働災害の防止及び建設労働環境の改善を目的とし、港湾建設局が施行する港湾関係工事の総合的な安全対策を定めるため、平成4年3月25日「港湾関係事業における工事安全対策要綱」を通過した。

この通達においては安全確保上重要な工事については高度な設計、施工技術が必要とするため、設計、施工に関し経験豊富な技術者または専門的知識を有する学識経験者(アドバイザー)の技術的助言・指導を受け、工事内容について十分な技術的検討を行うことにより、工事を安全かつ円滑に実施することを目的として、「港湾関係工事の設計、施工アドバイザー制度」を規定している。

第五港湾建設局はこの港湾局長通達に基づき「第五港湾建設局工事安全対策実施細則について」を平成4年8月1日付けで定めており、このなかで安全設計委員会では安全確保上重要な工事について、安全性の観点から、設計及び

施工条件等の検討を行うと明記している。



消波ブロック内蔵双胴型ケーソン模型イメージ図

なお、安全確保上重要な工事とは次に掲げるものである。
(1)トンネル(沈埋トンネル含む)。

(2)長大橋梁

(3)大水深、高波浪等の条件で施工する大規模構造物

(4)鉄道、道路、人家等重要構造物に近接し、その構造物等に影響が予想される工事

(5)その他工事事務所長の要請によるもの

下田港新構造防波堤安全設計委員会

今回開催された、「下田港新構造防波堤安全設計委員会」は、当該構造物が大水深(最大水深部42m)、高波浪下の基での(堤前波H_{1/10} 8.3m、H_{MAX} 14.9m、深部のD-1区)建設となるため、当局管内では、本通達後第1号の安全設計

計委員会として開催されたものである。

アドバイザーの先生方は、本制度の業務を支援するための機関となっている(財)沿岸開発技術研究センターが先に委嘱した堀口孝男氏(東京都立大学名誉教授(新日本気象海洋(株)技術顧問)、港湾・空港工学専攻)、土田肇氏(財)沿岸開発技術研究センター理事長、土質工学専攻)、山下生比古氏(むつ小川原開発(株)顧問、港湾工学専攻)の三氏である。

安全設計委員会は、平成6年3月22日、23日に下田東急ホテルで行われた。

まず、アドバイザーの先生方に現地を見て頂き、ケーソン本体製作場所、進水・仮置・据付場所、型枠、鉄筋等の資材置場、加工場等の予定地及び建設済み防波堤の確認を願った後、委員会に移った。



委員会現地確認

委員会では、アドバイザー

の先生方から、設計、施工面について多岐に亘る指導、助言を頂いたが、特に安全面については、鋼殻製作、躯体製作等異業種間の安全面での連携、協力会社等最終組織まで意思疎通のできる協議会組織確立の重要性、また、波浪予測の重要性、波高ばかりでなく波の周期に対する注意の他、安全については普段の細かい注意、心がけの積み重ねという基本的な心構えが必要である等のアドバイスを頂いた。

当所としては平成7年度からケーソン本体の製作にかかりたいと思っているが、施工計画作成に当たってはこれらアドバイス頂いた事項を十分踏まえた計画とし、本工事の安全な遂行を進めていくこととしている。

(ウォーターフロント窓口)



4月1日付

▽港湾局開発課海洋利用開発室長 尾崎正明(清水港所長)

▽清水港工事事務所長 高松 亨(山口県土木建築部港湾課長)

▽工事課長 堀内 宏(清水港次長)

▽清水港次長 松澤成哲(設計室建設専門官)

▽名古屋港労務厚生課長

青木昭徳(清水港庶務課長)

▽清水港庶務課長

瀧澤勝昭(清水港経理課長)

▽清水港経理課長

秋野行雄(名古屋港清龍丸事務長)

▽人事課任用係主任

二反田英浩(清水港庶務課)

▽清水港庶務課

神原草一郎(工事課)

▽用度課

水野 聡(清水港経理課)

▽名古屋港第二工務課第二工務係長

堀井義一(清水港工務課第一工務係長)

▽清水港工務課第一工務係長

柴田鋼三(設計室工事専門官)

▽名古屋港第二工務課第二工務係長

高井敏幸(清水港工務課第一工務係長)

▽機械課

松永洋明(清水港工務課)

▽清水港工務課

久保田靖子(新規採用)

▽設計室建設専門官

小山田宇孝(清水港第二工務課)

▽清水港第一工事課長

田村義明(工事課補佐官)

▽名古屋港庶務課管財係長

大野昌彦(清水港御前崎工場事務係長)

▽清水港御前崎工場事務係長

長澤隆夫(名古屋港庶務課管財係主任)

▽名古屋港庶務課契約係長

安西良治(清水港下田工場事務係長)

▽清水港下田工場事務係長

小島沙織(人事課研修係主任)

▽設計室工事専門官

金子英久(清水港下田工場工事係長)

▽清水港下田工場工事係長

小椋 進(設計室工事専門官)

▽工務課

小川徹記(清水港下田工場)

▽清水港下田工場

堀池昌生(工務課)

2年間の設計室勤務から、

気候温暖、風光明媚な、創立

73年の歴史と伝統のある清水

港に27年ぶりに勤務すること

になりました。静岡市出身の

私には地元であり、五建での

最初の勤務地でもあり感慨深

い思いであります。

港湾の整備は、地域づくり

の面からも地元の期待には大

きなものが感じられます。今

後、清水港を初め御前崎港、

下田港等の発展のため微力で

すが役にたてるよう努力する

所存でありますので、よろし

くお願い致します。

経理課長 秋野 行 雄

名古屋港工事事務所清龍丸

の海上勤務から転勤してきま

した。

当事務所は初めての勤務で

あり、初めての単身生活です。

清水港も出張等でお伺いし

たときは変わり、移り行く

時の流れを感じます。

私にとりましては、初めての

の事務所ですが、明るく仕事

のしやすい職場にしたいと思っ

ております。また、地域の発展

のため少しでもお役に立つこ

とができればと思っております。

ですので、皆様のご指導ご支援

をよろしくお願いいたします。

左から秋野、神原

メンバー紹介

次 長 松 澤 成 哲

くお願い致します。

経理課長 秋野 行 雄

名古屋港工事事務所清龍丸

の海上勤務から転勤してきま

した。

当事務所は初めての勤務で

あり、初めての単身生活です。

清水港も出張等でお伺いし

たときは変わり、移り行く

時の流れを感じます。

私にとりましては、初めての

の事務所ですが、明るく仕事

のしやすい職場にしたいと思っ

ております。また、地域の発展

のため少しでもお役に立つこ

とができればと思っております。

ですので、皆様のご指導ご支援

をよろしくお願いいたします。

左から秋野、神原



庶務課庶務係 神原 草一郎

このたび本局工事課より清

水にまいりました。

清水といえは、かつては温

暖な観光地として、まぐろや

かつおのおいしい港町という

イメージが強くありました。

しかし、今や(市民に言わ

せれば昔からか?)サッカー

の一大中心地として、Jリー

グに有力選手を数多く送り込

んで、全国にその名を知られ

ています。僕は前に名古屋に

いた関係上、試合結果を清水

の人達とともに喜べないこと

もありましたが、これからお世

話になる清水に少しでも役に

立てるよう、また迷惑をかけ

ないように努力していきたい

と思います。

本局中部新国際空港関連調

査室より転勤となりました。

清水での勤務は始めてなので

見るもの(富士山、日本平、

久能海岸...)、食べるもの

(生しらす、桜えび、苺、新

鮮なさしみ...)一つ一つに感

動しています。

また、仕事の面でもこれま

でに経験したことのない分野

ですので、経験の足りない分

は、努力を重ねて最善を尽く

してまいります。よろしくお願

いたします。

名古屋港工事事務所から転

勤になりました。以前港湾技

術研究所に向いたことはあ

りますが、五建管内で名古屋

地区を離れるのは今回が初め

です。

清水は気候も良く、魚も安

くておいしく、快適な生活が

出来そうですが、快適過ぎて

体形まで変わってしまいそう

で少々心配です。

業務の方は、初めて発注の

仕事をする事となり、期待

と不安の入り混じった心境で

すが、頑張つてやっています

と思っていますので、よろ

しくお願い致します。



左から高木、松澤、久保田、柴田、沢田

工務第一工務主任 沢田 玲

本局工務課より転勤となり

ました。その前は横浜に住ん

でいましたが、西の方に富士

山が小さく見えており、しば

らくは富士の見える所に勤務

しないだろうと思っていまし

たが、いきなり間近に見るこ

ととなりました。五建に入っ

て初めての事務所勤務となり

ますがよろしく申し上げます。

新規採用で清水にやってま

いりました。

出身の豊田市からほとんど

工務第三工務係 久保田 靖子

出た事がなく、まわりの景色も、一人で生活する事も、社会人になった立場というものも、仕事も、すべて初めての事ばかりでとまどう毎日です。分らない事はかりですが、色々勉強しながら早く慣れる様頑張っていきたいと思っています。

第一工事課長 田村 義明



20年ぶり2度目の清水港工事事務所の勤務となりますが、前も第一工事課勤務であり、宿舎も駒越でした。現場担当員として、これまでの経験を生かして又安全第一で無事故、無災害で、任務を遂行して行きたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

御前崎事務係長 長澤 隆夫



名古屋港工事事務所より転勤となりました。

通勤時間が2時間から5分となり、また通勤途中に見える光景が、ビルや通勤途中の多くの人であったのが、海・お茶畑・そして名峰富士……気持も時間もゆとりのある生活が送れそうです。

このような環境の良い御前崎に早く溶け込み、御前崎港の発展のために、また楽しい思い出が残せるように、頑張りたいと思いますので、よろしくお願致します。

下田工場事務係長 小島 沙織

四月から下田工場勤務となりました。「スリッパ転勤」ではない初めての転勤、初めての一人暮らしに、ワクワクドキドキの毎日です。

転勤前の大騒ぎはどこへやら、周囲の迷惑も顧みず(ゴメンナサイ)一〇〇%名古屋人は、ただ今カルチャーショックを大いに楽しんでるところです。

公私共にいろいろと御面倒をおかけしていますが、よろしくお願いたします。

下田工場事務係 小椋 進

目覚し時計が5:00を刻げる。カーテンをあけると朝日がまぶしい。風はゆるやかに朝もやを流していく。

よし、今日も絶好のロケーションだ。昨日、あの磯で逃

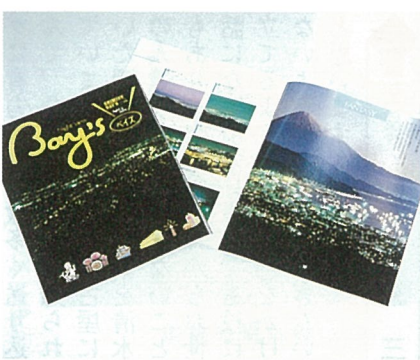
がしたメジナを今度こそものにしてやろう。さおの手入れは万全だし、仕掛けのチェックも完璧、エサの準備もOK寄せ餌のとげぐあいもバッチリ。クーラーの水もよし、車の調子も絶好調、これで夕方までには、獲物でクーラーは入りきれなくなるだろう。自然にゆるみがちなほほを引き締めつつステアリングをにぎる手に力が入る。『よし、出発だ』忘れ物はないか？あつ、今日は月曜日だった。



左から小島、小椋、堀池

下田工場事務係 堀池 昌生

伊豆半島の名所下田、ここでの私の生活はとても楽しいものとなると思います。釣りが好きの私にとってここ下田は天国とも思える所であり、目の前の海には各種の大物が回遊し、多くの釣り人がその大物を狙い竿を出す。その中に竿を弓なりにした自分の姿を想像しただけで胸が躍り自然に顔がほころんでいる。下田の海は6月からが本番らしい



ので今はO氏と二人でニコニコしながら作戦を練っているところですよ。また、伊豆の溪流もなかなかで、さっそく良いアマゴに歓迎され川の方もいい思いが出来そうです。みなさん、(特に釣り好きの人達)にうらやましい話を聞かせてあげられるよう下田でがんばります。

「Night View Bay's Journey」発行

3月31日清水港工事事務所は、清水港の夜景を特集した小冊子「ナイトビューベイズ」II写真IIを発行した。本誌は、清水港の活性化を探索するため「港の夜景を集客材料としてとらえ、港を観光資源の面からも整備する」をテーマに調査されたもので、昨年清水の歴史、観光、祭りなどをまとめた「ベイズ」の第二弾です。

夜景は、「ファンタジー」、「シンフォニー」、「ワンダー」、「プレジャー」、「レビュー」の五つのジャンルに分けられ紹介されている。問い合わせは、当事務所工務課長瀬まで。

管内の動き

4月	20日	清水港湾機関長会議
	22日	大井川港湾振興会総会 〔大井川〕
5月	9日	第2回静岡県東海道歴史のふるさとづくり推進協議会 〔静岡〕
	11日	日本港湾建設協会静岡県支部総会 〔静岡〕
	16日	The SHIMIZU in FORUM 第55回黒船祭り 〔下田〕
	18日	静岡県港湾振興会 〔静岡〕
	19日	静岡県地方港湾審議会幹事会 〔御前崎〕
	20日	海の記念日清水港実行委員会 〔静岡〕
	24日	清水地区石油コンビナート等特別防災区域協議会総会 〔静岡〕
	26日	静岡県地方港湾審議会 〔御前崎〕
	27日	第7回清水港みなと色彩計画推進協議会 〔静岡〕
6月	2日	御前崎港整備促進期成同盟会総会 〔御前崎〕
	8日	所長会議 〔名古屋〕